

2021年度 エコアクション21

環境ネットやまがた

環境経営レポート



環境省
エコアクション21

活動期間：2021年4月1日～2022年3月31日

(発行日：2022年6月24日)

認証番号 0006704



山形エコハウス

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田三丁目2-37

TEL:023-679-3340 FAX:023-679-3389 URL: <http://eny.jp/>



特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

環境経営方針

本法人の目的である「かけがえのない地球環境と山形の豊かな自然を守り、共存し、調和するため、社会を構成する人々及び団体が、環境を守る役割と活動の意義を理解し深め、自主的な取り組みを促進し、また、持続的発展が可能な社会の実現に寄与する」を具現化するため、エコアクション2.1環境経営システムを構築運用するとともに、下記のような取り組みを推進していくことを誓約いたします。

- 1 地球温暖化防止のため、自ら排出する二酸化炭素の削減に取り組みます。
- 2 資源の有効利用のため、自ら排出する廃棄物の削減に取り組みます。
- 3 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
- 4 山形県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動を推進します。
- 5 エコアクション2.1地域事務局として、エコアクション2.1認証登録制度の普及を推進します。
- 6 子どもたちの科学への興味と環境マインドを育む活動を推進します。
- 7 グリーン購入に努めるとともに、地域の3R活動を推進します。
- 8 地域の環境保全活動団体と連携し、森林整備活動や水資源を守る活動を支援していきます。
- 9 地域の環境整備活動に積極的に参加、貢献します。
- 10 環境関連法規等を遵守します。
- 11 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

令和元年10月1日改訂

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

代表 河合直樹

2.組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- 特定非営利活動法人 環境ネットやまがた 代表 河合 直樹

2-2. 事業の概要

- 地球温暖化防止活動の推進（山形県地球温暖化防止活動推進センター）
- エコアクション21の認証登録及び普及推進（中核地域事務局）
- 山形県環境保全協議会事務局
- やまがた環境カウンセラー協議会
- 山形県環境科学研究センター情報棟委託管理業務、山形県産業科学館指定管理業務



2-3. 所在地と連絡先（担当者）

- 住 所：〒990-2421 山形県山形市上桜田三丁目2-37 山形エコハウス内
連絡先：TEL023-679-3340 FAX023-679-3389
Email : eny@chive.ocn.ne.jp URL : http://eny.jp/
- 担当者：環境管理責任者 大場 健一
環境管理担当者 河合 麻衣 長岡 修一

2-4. 事業の規模

- 設 立：平成16年3月
- 収入額と職員数（事業年度：4月1日～3月31日）

| | 令和3年度 |
|---------|---------|
| 収入額（千円） | 128,437 |
| 職員数（人） | 19 |
| 会員数※ | 88 |

※ 会員数は、各年度の総会時の正会員とパートナー会員、賛助会員の合計数である。

■ 事務所の延床面積：208.15㎡（63.07坪）2階建て

■ 従業員数は4月1日現在の人数とする。

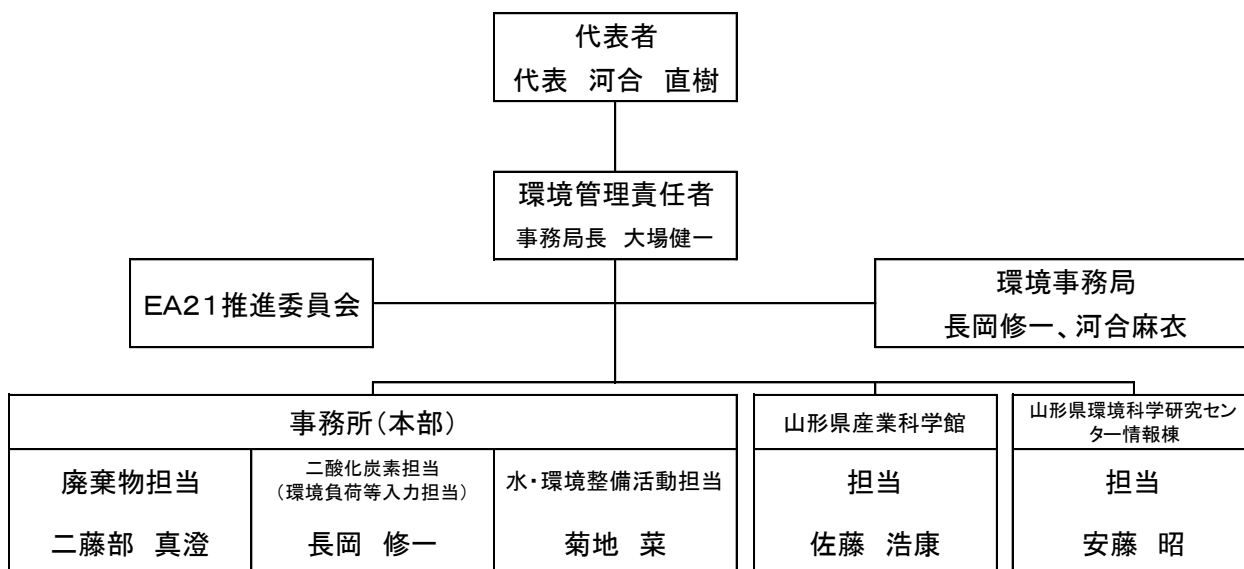
（本部6人、山形県環境科学研修センター情報棟2人、山形県産業科学館11人）



「エコペンファミリー」

山形県地球温暖化防止活動推進センターのキャラクターです

2-5. 実施体制



| | 役割・責任・権限 |
|-----------|--|
| 代表者(代表) | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施に必要な人、もの、金を準備 実施体制の構築及び周知徹底 環境経営方針の策定 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制等の周知 環境関連法規等の取りまとめ表を作成 環境経営目標・環境経営計画書を確認・承認 環境上の緊急事態の想定と準備 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認・承認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 教育訓練の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 文書・記録・手順書等の作成、管理 環境上の緊急事態の想定に基づく訓練の実施 環境活動の実績集計 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) |
| EA21推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の確認・評価 問題点の発見、是正、予防処置の実施 内部コミュニケーション |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

3.環境ネットやまがたの紹介

環境ネットやまがた

沿革

- 1998年 やまがた環境カウンセラー協議会設立
- 2004年3月 NPO法人化・名称変更
- 2004年4月 山形県地球温暖化防止活動推進センター指定
- 2005年4月 エコアクション21 地域事務局認定
- 2005年7月 山形県環境保全協議会事務局受託
- 2007年6月 山形県環境学習支援団体認定
- 2007年7月 事務所移転（村山市→山形市城西町）
- 2010年8月 事務所移転（城西町→山形エコハウス）
- 2011年2月 エコアクション21 認証登録



2021年5月環境ネットやまがた通常総会。

※エコアクション21 地域事務局の認定を受けている NPO 法人では全国で初めての認証

- 2014年4月 山形県環境科学研究センター情報棟の委託管理業務
- 2018年4月 山形県産業科学館の指定管理業務
- 2020年4月 エコアクション21 中核地域事務局認定
- 2020年10月 山形エコハウス（現事務所）の敷地・建物を東北芸術工科大学より購入

4.対象範囲

環境ネットやまがた

認証・登録範囲（全組織・全活動）

- 1) 取組の対象組織
 - 特定非営利活動法人 環境ネットやまがた
- 2) 取組みの対象活動
 - 地球温暖化防止活動（山形県地球温暖化防止活動推進センター）
 - エコアクション21 地域事務局活動
 - 山形県環境保全協議会事務局活動
 - やまがた環境カウンセラー協議会活動
 - ※山形県環境科学研究センター情報棟管理…テンポラリーサイト
 - ※山形県産業科学館管理…指定管理者



5.環境経営目標とその実績

環境ネットやまがた

5-1. 環境経営目標の策定

本法人は、2010年11月から、エコアクション21の取り組みを開始し、2015年度の二酸化炭素削減量は、26%削減（2011年度比）を達成しておりましたが、その後受託した業務によりリース車を導入したことから、ガソリン使用量が増加しており、2021年度では2013年比で約11%の削減の状態にあります。

一方、2015年度にパリ協定に日本が提出した二酸化炭素削減量は、2030年度に2013年度比で、46%削減（事業者部門は50%削減）を掲げており、当法人においても二酸化炭素排出量の削減量を2030年度まで2013年度比で50%削減することとしました。そのためには、2020年度実績から毎年163kgCO₂の削減を目標としております。個別の化石燃料の削減は毎年2%削減としておりますが、中長期目標期間内に最も負荷の大きいガソリン使用量の削減のためにリース車の更新も検討しております。

その間、とりあえずガソリンの個別目標は使用量がコントロールできないため、直近2年間（2018・2019年度）の平均から算出した燃費で管理しています。



5-2. 環境経営目標（中長期）の設定

| | 中長期目標（2020年度から毎年163kgCO ₂ 削減） | | | | |
|-----------------------------------|--|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂) | 3,214 | 3,051 | 2,888 | 2,725 | 2,562 |
| | 中長期目標（2021年度から2025年度まで2013年度比20%削減） | | | | |
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 廃棄物排出量 (kg) | 2013年度比 12%削減 | 2013年度比 14%削減 | 2013年度比 16%削減 | 2013年度比 18%削減 | 2013年度比 20%削減 |
| 水使用量 (m ³) | 2013年度比 12%削減 | 2013年度比 14%削減 | 2013年度比 16%削減 | 2013年度比 18%削減 | 2013年度比 20%削減 |

5-3. 2021年度環境経営目標（環境への負荷と本来業務）の実績と評価

| | 2020年度実績 (基準値) | 2021年4月～2022年3月 | | | |
|------------------|-------------------|---------------------------------|------------------------|------------------------------|----|
| | | 目標値 | 実績 | 差異(削減率) | 評価 |
| ■二酸化炭素排出量 | 3,377kg-CO2/年 | 163 kg-CO2 削減 3,214kg-CO2/年 | 3,104kg-CO2/年 | 110kg-CO2/年 削減 (-3.4%) | ○ |
| | 2013年度実績 (基準値) | 2021年4月～2022年3月 | | | |
| | | 目標値 | 実績 | 差異(削減率) | 評価 |
| ・電気使用量 | 5,264kWh/年 | 2013年度比 12%削減 4,632 kWh/年 | 3,677kWh/年 | 955kwh/年 削減 (-20.6%) | ◎ |
| ・都市ガス | 25.93m3/年 | 2013年度比 12%削減 22.81m3/年 | 20.34m3/年 | 2.47m3/年削減 (-10.8%) | ◎ |
| ・ガソリン燃費 (使用量) | — | 16.7km/L | 19.06km/L (777.06L) | 2.36km/L 向上 (+1.4%) | ○ |
| ■総排水量 (水使用量) | 75.64m3/年 | 2013年度比 12削減 66.56m3/年 | 54.63m3/年 | 11.93m3/年 削減 (-17.9%) | ◎ |
| ■一般廃棄物排出量 | 1,008.5kg/年 | 2013年度比 10%削減 887.9kg/年 | 585.8kg/年 | 302.1kg/年 削減 (-34%) | ◎ |
| ・コピー数量の削減 | 251,236 枚/年 | 2013年度比 10%削減 221,088 枚/年 | 196,513 枚/年 | 24,575 枚/年 削減 (-11.1%) | ◎ |

※ 達成率◎…+10%以上 ○…+10%未満-0%以上 △…0%未満--10%以上 ×…-10%未満

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力 2019 年度調整後排出係数 (0.522kg-CO2/kWh) を使用。

※ 二酸化炭素排出量を算出した電力は買電量とし、個別目標は使用量 (発電量+買電量-売電量) としました。

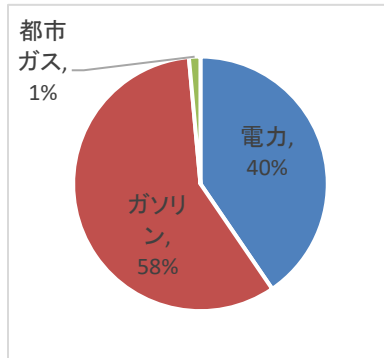
■ 二酸化炭素排出量

1) 全体

二酸化炭素排出量は、目標に対し 3.4%削減しました。
割合としては、グラフの通り、電力 40%、都市ガス 1%、
ガソリン 58%の割合となっており、ガソリン使用量の削減が
課題となっています。

※「電気」からの二酸化炭素排出量については、「購入電力」として算出しております。

※山形エコハウスは、カーボンニュートラルハウスをコンセプトに一般家庭の場合、太陽光発電の
発電量が電気使用量と同量で二酸化炭素を排出しないものとして建てられましたが、事務所
として使用しているので、電気を少し購入しています。



⇐ 太陽光発電 5kW（上）と、下は太陽熱温水器です。効率よく発電するように、山形エコハウスは真南に向いております。

2021 年度の売却電力は 1,992kWh

2021 年度の購入電力は 2,410kWh

家庭として使用した場合は、1 年間を通して±0 となる設計ですが、事務所として使用していますので、差の **418kWh** は購入しています。今冬は、大雪で 1 月 2 月の発電量はゼロでした。

2) 電気使用量

目標に対し 20.6%削減しました。

夏と冬に電気使用量は多いのですが、本部職員が 1 名減ったことや、コロナ禍でイベント等が減ったことが要因と考えられます。

※電気使用量は 発電量-売電量+買電量 で算出しております。



コピー機は複合機を使用。



温暖化防止の夏のイベントで扇扇を配布したりしております。

3) 都市ガス使用

昨年度より目標に対して 10.8%削減しました。

都市ガスはお湯を沸かす際に使用するものがほとんどで、お湯を沸かす量が増えたと増加します。

また、会議、イベント等でペットボトル飲料を配るのではなく、給水器を持参します。



イベントで大活躍。給水器持参でゴミ削減



↑電気ポットではなくエアポットを使用

4) ガソリン (燃費 16.7km/L 以上)

法人所有の公用車は、1 台を使用しておりますが、委託事業で県内全域を運行しており、エコドライブには心がけてはおりますが、委託事業のため、ガソリンの削減ができず、今年度から燃費の目標としました。結果、19.06km/L と、目標を達成することができました。また、使用量も昨年度に比べ 89L 減少しています。



所有車 → 日産 ノート

5) ペレット使用量

暖房と給湯用に木質ペレットを使用しています。ペレット等の木質バイオマスは燃焼させても発生した二酸化炭素は、木が成長する過程で吸収したものと、カーボンニュートラルという考え方に基づき、かつ地元の木材で地元の工場で製造されたペレットであるため輸送の際の二酸化炭素もカウントしないことになり、当法人でのペレット使用による二酸化炭素排出量はありませんがペレットの使用量の把握は継続しています。

2021 年度のペレット使用量は **256kg** でした。



↑ オーストリア製のペレットボイラー (右) と、ペレット燃料を入れるサイロ (真ん中) と蓄熱槽 (左)。家庭用ペレットボイラーとしては全国で初の導入。

■ 総排水量・水使用量

水使用量は、目標に対し、17.9%削減しました。今後も節水につとめます。また雨水を貯水し、散水・植物の水やりにも利用しています。



緑のカーテン実施中。
ゴーヤの水やりにも雨水を利用。

← 雨水を貯水しております

■ 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物

目標に対して 34%削減しました。総量、293.9 kgの内、可燃ごみが 34.4 kg(11.7%)の他は、地区の廃品回収などリサイクルに回しています。紙の分別については、分かりやすく表示し、片面コピーについては、内部資料をコピーする際などに再利用しております。

大幅に削減した理由としては昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止から研修会などのイベントが中止になり、印刷物が激減したことが考えられます。

2) 産業廃棄物

産業廃棄物の排出は不定期ですが、2021 年度の産業廃棄物は、廃プラ、廃乾電池でした。いずれも少量ですが、マニフェスト管理や産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告も済ませています。



↑紙の分別に取組み、裏紙の利用や封筒を再利用しております。



↑インク、テブラーなどはリサイクルしております。

■ コピー数量の削減

目標に対して 11.1%の削減でした。新型コロナウイルス感染拡大防止でセミナーなどの開催が中止になったのが理由と考えられます。

環境ネットやまがたでは、山形県温暖化防止活動推進センターやエコアクション 2.1 地域事務局のほか山形県環境保全協議会の事務局も務めており、その資料などを作成するコピー数は、かなりの量になります。使用量を削減することも重要なことと捉え、無駄なコピーを削減するよう努めています。また、PDF化による資料の保存にも取り組んでおります。



↑縮小コピーによる削減例



↑PDFでハードディスク管理

■自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する目標

新型コロナウイルス感染拡大防止で対面事業を WEB 配信に切り替えるなど工夫しながら、以下のように環境経営目標及び環境活動計画を策定し、その取組状況の評価を行いました。

※評価： ○…達成できた △…努力したができなかった ×…できなかった

①山形県地球温暖化防止活動推進センター事業

| 活動・取組み項目 (事業) | 目標値 | 評価 |
|---------------------------------|--|----|
| ■コーディネーター設置事業 | ■県民からの相談・照会などに対応する。 | ○ |
| ■令和3年度市町村住民向け「ゼロカーボンセミナー」開催支援 | ■カーボンニュートラルセミナーを10カ所で開催する。 | △ |
| | ■啓発パンフレットを作成する。 | ○ |
| ■地域における地球温暖化防止活動促進事業 | ■連絡調整会議を年2回開催する。 | ○ |
| | ■推進員フォローアップ1回、環境マイスターフォローアップ研修を3回開催する。 | ○ |
| | ■推進員候補者研修を3回実施する。 | ○ |
| | ■地域協議会等と連携したイベントを6回開催し、啓発活動を行う。 | △ |
| | ■推進員や地域協議会等と連携した環境講座の開催(1回) | ○ |
| | ■家庭のアクション結果報告 2,000件 | ○ |
| | ■山形エコハウス来場者数 600人/年 | ○ |
| | ■事業者と連携したカーボンニュートラル、COOL CHOICE 普及活動 | ○ |
| | ■SNSを活用した地球温暖化防止の情報発信(延べ3,800名への情報発信) | △ |
| | ■省エネ住宅に関する啓発・広報業務(ホームページでの情報発信、285名) | ○ |
| | ■木質バイオマスに関する啓発・広報業務(イベントでの啓発活動1回) | ○ |
| | ■エコカップやまがたを開催し、取組事例50件収集。 | ○ |
| | ■エコカップやまがた活動事例発表会の当日参加者70名。 | ○ |
| ■クールチョイス賛同数(3,055件) | ○ | |
| ■家庭や事業所の省エネ活動事業業務委託 | ■イベントでの啓発活動(5日) | ○ |
| | ■大学生等との「COOL CHOICEを広めよう」の実施 | ○ |
| | ■地球温暖化防止講演会の開催(1回) | ○ |
| | ■エコ住宅市民講座の開催(1回) | ○ |
| | ■住宅の省エネ相談会の実施(3回) | ○ |
| ■小学生向け啓発パネルの作成 | ○ | |
| ■改正建築物省エネ法説明会お | ■説明会及び相談会の開催(2回) | ○ |
| ■ゼロカーボン社会の実現と災害に強いまちづくりを目指す取り組み | ■V2H活用推進セミナーの開催(1回)及び啓発パンフレット作成 | ○ |
| | ■親子を対象とした環境教室の開催(1回) | ○ |
| | ■森林整備活動の支援(2回) | ○ |

| | | |
|------------------|-----------------------------------|---|
| ■SDGsの取り組み推進とゼロカ | ■セミナーの開催（2回） | ○ |
| ■地域センターと連携した情報発 | ■脱炭素経営セミナー及び相談会を計3回開催する。 | ○ |
| ■山形県気候変動適応セミナー | ■山形県気候変動適応センターとの共催で、セミナーを開催する（1回） | ○ |



推進員研修



エコカップやまがた



事業者の省エネセミナー（オンライン）

②エコアクション2.1等普及啓発・認証・登録事業

| 活動・取組み項目 (事業) | 目標値 | 評価 |
|------------------------------|-----------------------------|----|
| ■エコアクション2.1等普及啓発・ 認証・登録事業 | ■登録審査40件 ⇒ 11件 | × |
| | ■力量向上研修を1回開催する | ○ |
| | ■フォローアップセミナーを2回開催する ⇒ 山形、青森 | ○ |
| | ■WEBによる情報等の発信 | ○ |
| | ■普及セミナーを1回開催する | ○ |

・エコアクション2.1の登録審査は目標を達成できませんでしたが、認証登録拡大アクションプランを7月に策定し、取組みを開始しています。



エコアクション2.1 10年継続事業所様への
感謝状贈呈式



フォローアップセミナー（青森市）



フォローアップセミナー（山形市）

③その他の事業

| 活動・取組み項目 (事業) | | 目標値 | 評価 |
|-------------------------|------------------------------------|------------------------------|----|
| ■省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業 | ■省エネ相談支援事業 12件 ⇒ 8件 | | × |
| | ■省エネルギーセミナー(1回) | | ○ |
| | ■省エネプラットフォーム連絡協議会(2回) | | ○ |
| ■再生可能エネルギー設備導入事業費補助金業務 | ■補助事業の普及啓発(パンフレット等配布) | | ○ |
| | ■補助金申請の受付、一次審査、現地調査、県への進達、通知書送付 | | ○ |
| | ■導入検討から施工に至る各段階における相談対応 | | ○ |
| ■環境エネルギー学習機能拡充推進業務 | ■山形県環境科学センター情報棟来館者 1,321人/年⇒360人/年 | | △ |
| | ■環境教室(所内・派遣)・自主事業・出展 93回/年⇒70回/年 | | △ |
| | ■山形県環境アドバイザーの派遣 32回/年⇒10回/年 | | △ |
| | ■山形県地球温暖化防止活動推進員の派遣 46回/年⇒20回/年 | | △ |
| ■山形県産業科学館指定管理業務 | 別に計画 | | - |
| その他事業 | ■情報発信 | ENY ニュース 2回/年発行 | ○ |
| | | Web版 ENY ニュース 1回/月発行 | ○ |
| | ■地域環境保全への協力 | ■エコハウス周辺の清掃(ゴミ拾い、落ち葉掃き、雪はき等) | ○ |
| | | ■地域の環境に関わるボランティア活動に年5回以上参加 | △ |

・省エネ相談支援事業は、本年度より事業者に1割負担を求めたことや、それに伴う事務量の増加で未達成となりました。

6. 環境経営計画と次年度の環境経営目標と取組み

環境ネットやまがた

■二酸化炭素排出量の削減

- 1) 消費電力の削減
 - ◎室温は、暖房期 20℃、冷房期 28℃で管理する
 - ◎使用していないエリアの照明は消す
 - ◎OA 機器・家電製品の待機電力を削減する
 - ◎扇風機の使用
 - ◎グリーンカーテンを実施する
- 2) エコ運転の実施
 - アイドリング停止の徹底
 - 「エコドライブリレー」ステッカーの掲示
 - 「燃費記録表」で燃費の確認

■廃棄物排出量の削減

- 1) 廃棄物分別の徹底
 - 分別の徹底
 - 廃棄物置場の整理
 - 案内は極力メールで行う
- 2) コピー数量の削減
 - 配布物の数量管理の徹底
 - コピー用紙の裏表利用・縮小コピーなど
- 3) 再利用の促進
 - ◎プリンターインク、テプラテープはリサイクルに出す
- 4) グリーン購入の推進
 - ◎事務消耗品は可能な限りグリーン購入につとめる
 - ◎その他の購入品も可能な限りグリーン購入を意識する

■総排水量（水使用量）の削減

- 雨水を貯水し、散水・洗車・植物の水やり
に利用する
- 手洗い時の節水（掲示）

■次年度の環境経営目標について

2021 年度よりパリ協定の取組期間が始まり、日本も温室効果ガスを 2030 年度に 2013 年度比で 46%削減と 2050 年度カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。これに伴い、国が計画している事業者部門の削減率 50%を目指し、引き続き環境経営計画を推進してまいります。

なお、最も二酸化炭素排出量の多いガソリンについては、現在のリース車を継続して使用することとし、リース車の更新は翌年以降に考えております。

また、法人の本来の業務についても、達成できるよう努力していきます。

7. 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境ネットやまがた

本法人が遵守すべき主な環境関連法規等は以下のとおりです。

| 環境関連法規等の名称 | 遵守すべき内容 | 遵守状況 |
|------------------|---|------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 産業廃棄物を排出する場合：委託基準、委託契約書、マニフェスト交付・返送確認・交付状況報告。 | ○ |
| 家電リサイクル法 | 特定家電を廃棄する場合：リサイクル料金の支払い。家電マニフェストの写しの交付を受ける。 | ○ |
| 自動車リサイクル法 | 自動車を廃棄する場合：リサイクル費用の負担。登録業者に引き渡す。引取証明書を受け取る。 | ○ |
| 消防法 | ペレットの保管：1トン以下。 | ○ |

・関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去 5 年はもとより、法人設立以来一度もありませんでした

8.代表者による全体評価と見直しの結果

環境ネットやまがた

代表者による全体評価と見直しの結果

2021年度のCO2排出量は3.1tとなっていますが、これは、日本の2020年度における1世帯当たりの排出量3.9t（出典：温室効果ガスインベントリオフィス）よりも少なく、いかにエコハウスの省エネ性能が優れているか実感できます。そのことから、これ以上の削減を目指すことは難しいと判断されますので、今後は、現状の排出量を維持するような目標展開でも良いと思います。それよりも本来業務に関連する取組みの強化を図ることが重要と感じます。「コロナの影響で…」といった言い訳は、今後は通用しなくなります。コロナ渦で得られたオンライン化などのノウハウを活かしながら、目標達成を目指して下さい。

1. 環境経営システムが有効に機能しているか

PDCAの内、CHECKの機能が弱い。少なくとも半期ごとに目標の達成状況、計画の実施状況などを評価し、その結果をもとに必要に応じ、是正処置を講ずるとともにその情報を共有すること。

2. 環境への取組は適切に実施されているか

従業員の環境への意識は高く、EA21を意識するしないに関わらず、当然のこととして、環境への取組みを行っており、そのこと自体、高く評価するが、EA21の中核事務局として、その取組みの規範たるべく、活動をさらに活性化してもらいたい。

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた
代表 河合 直樹

9.その他の活動写真

環境ネットやまがた



水生生物調査



河川クリーンアップ



カーボンニュートラル講演会

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37 TEL: 023-679-3340

E-mail: eny@chive.ocn.ne.jp URL: http://eny.jp